



協会ニュース

第30号

平成22年1月30日発行

編集発行人／宮川 俊介 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町15-17 (日本基礎技術株式会社内) TEL (03) 3476-5721 FAX (03) 5489-7821
[ホームページURL] <http://www7.ocn.ne.jp/~rta/>

年頭にあって

岩盤削孔技術協会会長

見波 潔



あけましておめでとうございます。平成22年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

1年前の今頃、「金融危機、世界同時不況、雇用不安などが連鎖して未曾有の厳しい社会経済状況」と言っていました。その後、緊急経済対策などが講じられたものの、我が国経済はデフレスパイラルに入ってしまった。会員各位におかれましては、それぞれのお立場でご苦労が多いことと推察しております。

昨年の秋から、公共事業についてはその本質を論じることなく、予算の削減がクローズアップされて論じられています。コンクリートは国土の基盤を作り、人々の安全を確保するのに不可欠な材料であるにもかかわらず、「コンクリートから人へ」という見事な(?)までのキャッチコピーが政策論争やマスコミ報道で大手を振っていることに、もどかしさと苛立ちを感じざるを得ません。

建設産業は未来が必要とするものを見越したモノづくりを通じて社会に貢献する産業です。真に必要な技術は将来にわたって必要とされ続けることに間違いありません。その技術は我々の仲間の技術者集団に宿っています。意を強くしてこの難局を乗り切るではありませんか。

当協会は、大口径岩盤削孔技術をさらに磨き、普及させ、信頼性の高い工事を実施することで顧客の期待に応えるべく、会員が協力し合って様々な活動を行っております。平成21年度は「ケーシング回転掘削工法カッタービット損耗量調査報告書」「会員施工会社施工実績調査表(平成20年4月～平成21年3月)」を発行いたしました。合わせて、(社)日本建設機械化協会主催の講習会「大口径岩盤削孔の施工技術と積算」に講師を派遣し、大口径岩盤削孔の施工技術と積算について広く普及に努めました。

平成22年度は「リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料(平成22年度版)」および「大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料(第7版)」(「会員施工会社施工実績調査表(平成21年4月～平成22年3月)」)を発行する予定です。また、会員相互の情報交換のための「協会ニュース(第31、32号)」を発行して参ります。

会員の皆様のお役に立つ協会として引き続き活動しますとともに、大口径岩盤削孔技術を育て、発展させて行きたいと考えております。格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

委員会活動報告

1. 運営委員会 3回
(平成21年5月14日～平成21年10月16日)
 - ① 平成20年4月から平成21年3月までの4工法施工実績表の作成・発行
 - ② 協会ニュースの審議
 - ③ ホームページの審議
 - ④ 総会開催、運営
 - ⑤ 予算の審議
2. 協会ニュース編集分科会 2回
(平成21年5月14日～平成21年10月16日)
3. リーダ式ケーシング回転掘削工法分科会 2回
(平成21年5月14日～平成21年10月16日)
4. 大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料改訂分科会 2回
(平成21年5月14日～平成21年10月16日)
5. ホームページ分科会 2回
(平成21年5月14日～平成21年10月16日)

成果品

1. 平成20年4月から平成21年3月までの4工法施工実績調査表の発行
2. ケーシング回転掘削工法カッタービット損耗量調査報告書作成・分析
3. リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料

広報活動

1. 協会ニュース1回: 第29号(平成21年8月31日)
2. ホームページ改訂(平成21年10月10日)

対外活動

1. (社)日本建設機械化協会技術委員会参加 3回
(平成21年6月5日～平成21年9月29日)
2. (社)日本建設機械化協会主催 講習会
「大口径岩盤削孔の施工技術と積算」
(平成21年6月12日から平成21年7月8日まで
東京、大阪)で当協会派遣講師により、大口径岩盤削孔施工技術の普及を行った。